



桃と桜を見に行きました



桜森にある大きな桃の木

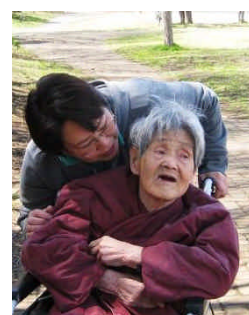


3月28日(月)、桃と桜を見に出かけました。この桃の木はととても大きくて花が綺麗に咲いていました。スタッフさんが買い物途中で見つけ、みんなで何度か見に来ていた桃です。

桃の後は桜です。東原さくら公園でお茶を飲みながらのお花見です。肌寒いので少しの時間でしたが、楽しいひとときでした。



東原さくら公園にて



筒井代表の講演



3月13日(日)14時から座間市健康センターで、筒井代表による「小規模多機能型居宅介護とは」というテーマで講演がありました。どのような介護を提供するのかという説明、卒業後保育士として親のない子供たちと接していた筒井代表が認知症のお年寄りの介護とその家族をサポートし

ていこうと思った経緯、ふれんどりいグループができるまでの経過などのお話がありました。

ふれんどりいさんは ①利用者さんとご家族の思いに寄り添う ②困っていることの解決 ③“生きる力”(人として誇りや意欲)を引き出す ④地域との交流 ⑤協力医との連携 を目指しています。認知症になっても体が不自由になっても家族と住み慣れた土地で今まで通りの暮らしをすることで、穏やかな気持ちを持ち続け認知症の進行も遅らせることができるのです。スタッフさんが利用者さんの気持ちを大事にしながらそのお手伝いをしています。

筒井代表のお話の後、利用者さんのご家族でもある方がコーディネーターとして参加され、「看取り」についてのお話がありました。だれもが幸せな最期を望んでいます。どのような最期を迎えたいのかはご家族での十分な話し合いが必要です。筒井代表の「死を思って生きていく」「死は尊いもの」というお話から、私たちはこれからの人生をどのように生きていくのかを考え、死を迎えるまでその人らしく過ごすことがとても大事なことなのだと思います。筒井代表とスタッフさんは、利用者さんが在宅でご家族と一緒に最期まで暮らしていきたいという願いに寄り添い、最期までサポートできる環境作りに力を入れていきたいと頑張っておられます。

利用者さんの笑顔が絶えることのないように共に助け合っていきましょう！